

大湊高校同窓会 会報

やまびこ

(16期生 高橋一明氏 揮毫)

CONTENTS

- ◆本部だより……………P2～3
- ◆東京同窓会だより……………P4～5
- ◆活躍する同窓生たち……………P6
庄司敬仁 (38期生、マジシャン)
- ◆同窓会・クラス会だより……………P7
22期親睦旅行／大高プレイバック
- ◆学校だより……………P8～9
「世代を越えて」<校長>/旅立ちの前に
総合的な学習の時間「針路学in大湊」発表会
ボート部安全祈願式/ソフトテニス部22年
ぶり青森県高校総体ベスト8/部活動紹介
(剣道部、演劇部)
- ◆平成26年度部活動戦績……………P10



東寺の五重塔

2014年昨年は全国で色々な災害があり不安を感じた一年でした。幸い、下北地区は大きな災害も無く新しい春がやってきました。新しい仲間として同窓会に入会されます192名の卒業生の皆さん、おめでとうございます。心から歓迎を致します。三年間の学校生活、部活動での数多くの成果など、若さあふれる皆さんの活躍を本当に頼もしく思っております。これから、新しい人生のスタートです。「大湊高校の卒業生」として、社会という荒波に負けずに立ち向かってください。

同窓生・在校生の活躍、がんばって欲しい、上手くいって欲しい、自分の子供が出てくるような気になる、そんな気持ちは、私だけでしょいか？いや、私だけではなく、全ての同窓生が考えていると思っております。「同窓会」は、現役生徒も含め卒業



第14代会長
杉山 徹
(22期生)

巻頭あいさつ
希望に満ち
幸多きを祈念



伏見稲荷

生の皆さんを、陰ながら励まし、応援していきます。

大湊高校同窓会も更なる「絆」を年代を超え、懇親できる場を増やしたいと考えております。大きな活動では、東京同窓会が6月に、地元では8月15日に総会・懇親会（新卒業生激励会）を行っております。新卒業生はもとより、先輩・同窓生の皆様の沢山の参加をお待ち致します。

本校サイトを開いていただき、ご意見、それぞれの同期会の情報等を発信していただければ幸いです。

結びに、大湊高校の益々の発展と新卒業生の皆さんと全国各地で活躍されている14,864人の同窓生の皆さんの希望に満ち幸多きを祈念し、挨拶と致します。

本部 だより



総会には若者もたくさん参加しました



会長あいさつ

★総会

平成26年度
青森県立大湊高等学校同窓会
総会・懇親会〈新卒者激励会〉
◎期日 8月15日(金)
◎会場 プラザホテルむつ

午後5時30分から



東京同窓会の皆様と関東在住の新卒者



旧職員を代表して、牧野正藏先生あいさつ

★懇親会

〈新卒者激励会〉

午後6時30分から



大人っぽくなったかな？



今年も楽しく
和気あいあいと

女子は半年で
随分ステキになりました



平成27年度の日程

【本 部】

青森県立大湊高等学校同窓会
総会・懇親会 ～新卒者激励会～

【日時】平成27年8月15日(土)
総会17:30/懇親会18:30

【会場】プラザホテルむつ
JR 下北駅そば
TEL0175-23-7111

【東 京】

青森県立大湊高等学校東京同窓会
定期総会・新卒者激励会

【日時】平成27年6月27日(土)
15:00

【会場】吉池食堂
JR 御徒町駅徒歩 1分
TEL050-5789-4455

新卒者の活躍



坂本由美さん
(66期生)
みちのく荘勤務

①仕事について

みちのく荘は「ひとりひとりの心地よさ」をモットーにしている為、人材育成に熱心な施設です。また、研修が多くあり、自分のスキルアップになっています。介護は、利用者との関わり方が難しく、大変な仕事です。高校時代も「介護はきつい」というのは聞いていましたが、実際やってみると確かにきついです。でも、利用者さんがひとりでも笑ってくれるだけで頑張れます。介護は難しい仕事ですが、やりがいもあり、勤務年数によって資格も取得できます。自分を成長させるなら、介護しかないと思います。

②高校時代について

中学から介護の仕事に就きたいと思っていたので、健康福祉系列を選択しました。2年次までは

進路を具体的に決めていませんでしたが、3年次になってから就職したい施設を決めました。高校3年間は、特に部活動には所属していませんでしたが、友達と遊んだり、生徒会活動で充実していました。でも、したい仕事をしている現在のほうがより充実しています。

③今後の抱負

まだ全然考えていませんが、とりあえず今の仕事をきちんとこなせるようになりたいです。1年経ってもまだまだ利用者のことをわかっていないし、効率よく働けていないと思います。常に先の事を考えて行動できるようになりたいです。これまで何度も「辞めたい」と思いましたが、今、頑張れているのは、先輩方が優しいことと、笑顔を向けてくれたり、私のことを気遣ってくれる利用者さんがいてくれるおかげです。今は、利用者のことを想って行動できる介護士を目指したいです。



お楽しみ抽選&近況報告



新卒者代表あいさつ



旧3年次の先生方から温かい激励



ひとつの輪になって校歌♪



元応援団長 三井治仁さん(36期生)からエール



来年の再会を誓う

東京同窓会だより

「幸せ」は近くにある？



会長 齋藤 忠志 (9期生)

「山のあなたの空遠く『辛い(さいわい)』住むと人のいう」はカール・ブッセ(上田敏訳)のあまりにも有名な詩の一節である。

またテレビなどない時代の子供の頃大湊で暮らし、青森市はもつと楽しいのでないかな、そして青森市より仙台市の方がより楽しいかな、さらに仙台市より東京都の方がもつと楽しいかなと思つた。

大湊を出て仙台で暮らし、東京で暮らし、その後大阪、名古屋でも暮らし、さらにニューヨーク、ロンドン、パリにも行った。たしかに大都市は大勢の人が行き交い、車や電車の交通量は激しく活気に満ちている。多数の大型商店もあるし、文化・芸術、スポーツ施設も多くあり賑やかだ。だが、住んでいるところが活気に満ちている、賑やかであることは楽しいことかもしれないが幸

せの単なる一条件に過ぎない。その裏にはそれなりの辛いこともある。最近の特に都会の電車やバスの乗客は、一部の高齢者を除いてみな携帯電話かスマートフォン・タブレットを操作している。多くの人は時間に追われて忙しそうだ。とても余裕のある生活をおくっているとは思えない。

そもそも「幸せ」とは何だ。どういう状態をいうのだろうか。おそらくそれは人によって異なるのだろう。したがって幸せはどこかにあるのではなく各人の心の中にあるといえる。幸せの基準はないし上限もない。考えるまでもなくそういうことだが、それでもどこかまだ訪ねたことがない遠いところに今よりもつと幸せがあるのではないかの思いは捨てきれない。本当は今が一番幸せな時であり、場所であるかもしれないのだけれど。この地球上で自分の場所から一番遠いところは、自分の後ろだという話もある。だとすれば今いるところが幸せの場所なのかもしれない。

平成二十六年年度の活動

定期総会・新卒者激励会

平成二十六年年度の定期総会・新卒者激励会は例年どおり東京の「グラントヒル市ケ谷」の三階「瑠璃の間」で六月二十八日に開催された。ご来賓として東京青森県人会会長清藤良則氏、東京青森県高校同窓会連合会顧問神秀武氏、東奥日報東京支社長鳴海成二氏、田名部高校東京同窓会事務局長雪田吉信氏がご来場くださった。母校からは校長佐藤桂一先生、同窓会本部から会長杉山徹氏、副会長佐々木一浩氏、事務局長岩崎洋児先生、母校PTA副会長野崎尚文氏、母校後援会理事奥川清次郎氏がご出席された。その他多数の関係者にご出席をいただいた。東京同窓会の役員、同会員、新卒者等総勢七十名近い人数が参加した。

来賓のご挨拶、校長先生から母校の最近の活躍ぶりのご報告があった。新卒者は三年次担当の先生方と久しぶりのご対面。各人から学びや生活の楽しさ、つらさの話も出たが、今後の意気込みが力強く語られた。

(齋藤記)



■ 各種のイベント ■

四月には東京下町青森県人会主催の「観桜会」に参加した。江東区の猿江恩賜公園の二〇〇本の桜の下で青森県の各高校の東京同窓会、その他青森県の各種団体の人々と交流した。五月にはおつ市と姉妹関係の江東区亀戸の「香取勝運商店街」の催し「むつとの遭遇」に協力した。

五月には八月末開催の「総会」準備のために、港区西麻布の畑中皓二顧問宅に全役員が集まり案内状の発送業務を行った。例年のことだが総会だけのために役員会は三回開かれる。

九月には秋の遠足と銘打って小金井市の「江戸東京たてもの園」に出かけた。高橋是清邸、三井八郎右衛門邸、デ・ラランデ邸など江戸、明治、大正、昭和時代の数多くの建築物が移築された地区を見学した。

十月には西立川の国営昭和記念公園での東京青森県高校同窓会連合会（高窓連）主催の「ハーベキユ一祭」を楽しんだ。あいにくと台風襲来日でテントの下でもずぶ濡れになった。

一月の新年会は銀座の「ピヤブラザライオン」でオペラの名曲やドイツリート、日本の歌曲を音大出のセミプロの名演奏・声を飲食とともに堪能した。

以上のほかに四月には「高窓連祭」、十月に東京青森県人会主催の「県人会友好団体交流会」、十一月に「青森人の祭典」などにも参加した。そのための役員会、執行部会を何回となく開いた。大湊高校の東京同窓生の交流・親睦をいっそう図りたいと願っている。（斎藤記）

（写真は佐々木彦藏顧問の提供）



むつとの遭遇 in 亀戸・5月



猿江公園での観桜会・4月



大高東京同窓会役員会



江戸東京の建物の野外博物館・9月



銀座での新年会・1月



夜の銀座ライオンビヤホール・1月



青森県同窓会連合会会議・11月



活躍する同窓生たち



庄司 敬仁
(38期生)
職業…マジシャン

人々に驚きと喜びをもたらすイリュージョン…それが「マジック」。ご自身で披露するのみならず、マジックのアイテム開発、著書の執筆など、幅広く活動されています。庄司敬仁さんを紹介いたします。

Q マジックの達人と伺っております。マジックを志したきっかけをお聞かせください。

A まず、達人ではございませんので！小さいころからマジックは好きでしたが、むつ（大湊）にいたころは習うことも、身近で見ることでもできず、ただ単に興味として続けていました。東京に出てマジックを習ったのがきっかけといえはきっかけです。たまたまですが素晴らしい先生に巡り会えました。

Q どのような活躍をされておられますか。（活動場所、実績等）

A NHKオープンスクール、マジックの講師や、マジックサークル、マジックスクールでの指導が主な業

務になりました。そのほかは、マジックの商品開発や、イベントなどを企画したり、資料を作ったりの毎日です。ごく稀に、テレビの出演や、タレントへマジックの指導をしたりしています。

Q このお仕事をされて一番印象に残っているエピソードは？

A やはり私が著者として書籍を出せたことが印象深い出来事です。自分の本が、本屋の棚に並びのは気持ちがいいものです。アスキー新書さんから出しました『接客の魔法』は、マジックのやり方の本ではなく、私の体験談をまとめた文章だけの本です。特に感慨深いものがあります。作文が苦手な原稿用紙2枚埋めることがやっとだった私が、新書サイズとはいえ200ページ以上の文章をまとめたことだけです。



Q ご自身の高校時代には、どんな思い出がありますか。

A 正直たくさんの思い出がありません。

す。自転車での通学だったので、学校までの上り坂は、今でも懐かしく思い出します。文化祭では、ねぶた製作をしましたし、耐久遠足では、釜臥山までの山道を駆け抜けたのも覚えています（2年生の時は蜂に襲われました）。修学旅行では修学旅行委員長でしたし、部活は、サッカー部でキャプテンでありました（Jリーグの前です）。勉強以外は何でも積極的に参加した思い出があります。

Q 今後の目標は何ですか。

A 沢山の人に生でマジックを堪能してもらいたいです。その活動に力を入れていきたいと思えます。特にむつ（大湊）のような田舎の子供さんに生でマジックを楽しんでもらいたいと思います。機会があれば呼んでください。宜しくお願い致します。

Q 後輩の大高現役生たちにメッセージをお願いします。

A 好きな分野の好きなことにチャレンジしましょう。そしてその分野の日本一、世界一の方に会いましょう。どの分野であれ、トップの方は皆さんが想像する何倍も凄いはずですよ。それを体感する機会をまずは作りましょう。最近では、何でも映像、動画でやり取りできるので、日本一、世界一のパワ―には生でふれることをお勧めします。



★庄司敬仁さんのプロフィール
★榊日本奇術連盟主催マジック講習会をかわきりにマジックを本格的に開始。マジックディーラー（販売員）を経てフリーに。
★テーブルマジックを中心に、ホテルレストラン、フライダール、イベント、寄席で活躍中。
★パフォーマンスの他に講習会や、カルチャーセンターなどでマジック指導も行っている。

近況

- 2014年6月 考える力と表現する力を演じて楽しい科学マジック《日経B.P》執筆
- 2013年10月 頭がよくなる算数マジック&パズル《中公新書ラクレ》執筆
- 2012年3月 100円ショップでそろろう かんたん工作マジック（全3）《岩崎書店》執筆
- 2011年4月 遊んで学べる算数マジック 全4巻《小峰書房》執筆
- 2010年12月 フジテレビ ほこたて マジック見破りのプロとして出演

同窓会・クラス会だより

「旧交をあたためる」(22期親睦旅行平成26年11月9日～11日)

22期生 川森 和郎

私たちの学級では、還暦修学旅行を機に隔年で旅行をしています。昨年の秋は、熱海・箱根・横浜等へ行ってきました。

今回は2泊3日の旅行でしたが、16名の参加がありました。旅行期間中は、各地を観光したり、ホテルや中華料理店での懇親会等を通して旧交をあたためることができました。中には高校卒業以来の再会もあり、感激していました。高校時代の思い出が走馬燈のように浮ぶ等、仲間と有意義な時間を共有できた旅行でした。



同期会・クラス会 お知らせください

各期、クラス単位で同窓会を開いているというお話をよく聞きます。ぜひ、皆さまの和やかで楽しい様子を「やまびこ」で紹介させていただきたい。ご一報くだされば、事務局から左記のことをお伺いするために、「ご連絡いたします」。

- ◆◆期生 (▲▲年3月卒)
- 期日・会場
- 写真(当日のようす、近況等も併せて)

【お問合せ】

大湊高校同窓会事務局

★電話 0175(24)1244

★FAX 0175(24)2680

★メール dosokai~omn.h@asn.ed.jp

大高プレイバック

修学旅行での1コマ



学校だより

世代を越えて



大湊高校 校長 佐藤 桂一

同窓会の皆様、日頃は母校の教育活動に、大きな励ましを与えてくださりありがとうございます。母校の校長として心強い限りであると同時に、うれしくありがたいと思っています。

同窓会は、母校が存在するかぎり、永久に会員が増え続けていき、母校とは切り離すことのできない密接な関係を持つ団体であります。卒業生の皆様の活躍に非常に高い評価をいただいております。

今年度を振り返ってみますと、部活動では陸上部とヨット部(男女)がインターハイ出場。学校行事では、5年ぶりに学校から釜臥山コースの耐久登山遠足(学校発↓釜臥山↓恐山↓むつ運動公園着)が復活し、午

前は雨の中、汗だくになりながら完歩をめざし、午後には雲間から太陽ものぞき、ゴールにたどり着いたときは「ヤッター」という達成感がみなぎっていました。

また、2月5日現在で、3年次生の進路状況は国公立大学合格者18名(過去最高)、就職内定率98%で自己の進路達成に向け大変よく頑張っています。そして週休日や祝日には、生徒たちが背中に「大湊高校」と記された学校指定のトレーニングウェアを着用している姿を街でよく見かけます。体育着であり、部活動の遠征でも着用でき、他校では見られないデザインと機能性に優れた運動着です。「大湊高校」を背負いながら、明るく振る舞い、元気の良い挨拶などから母校愛が育まれていると感じています。

さて、どの学校の同窓会でも言えることですが、積極的に活動されている会員の方々が高齢化しつつあるようです。伝統ある大湊高校の同窓会の活性化維持には、先輩から後輩が業務内容を受け継がなければなりません。そのためには、若い会員の方々も同窓会の集いには是非出席し、世代を越えて同窓会員の交流の輪が益々拡がることを願ってやみません。

卒業生の前に

この春、わが同窓会の仲間入りをする卒業生です。今の思いを語ってもらいます。

高校生活を振り返って

三年 樋口 秀人

入学式を終えてから三年がたち、もう卒業式が近づいて来ました。私は生徒会長としてこの一年間を過ごしました。私たちの代から、生徒中心の運営を目標に活動してきました。毎日新しいことをして、少しでもよい学校生活を作るために、日々精進しました。私の高校生活は、生徒会活動に費やしたと言っても過言ではありません。そして、生徒会

長になれたことは、私の自信となりました。

大湊高校にはたくさんの方の学校行事があります。その中でも一番思い出に残っているのは、修学旅行です。クラスメイトと過ごす時間は、私の中ですごく楽しい時間となりました。

私は、4月から社会人になります。高校生活で学んだ勉強はもちろんのこと、協力することで成し遂げることができるといふこと、最後までやり遂げる責任感を胸に刻み、しっかりと励んでいきたいと思っています。これから先、辛いことや楽しいことがたくさんあるとおもいます。辛いときには、楽しかった高校生活を思い出し、がんばりたいと思います。



総合的な学習の時間 「針路学 in 大湊」発表会

期日:平成26年12月22日(月) 場所:本校第一体育館

1年次生による発表は、職場体験で学んだことに関して、2年次生による発表は修学旅行で実際に学んだことを、3年次生は課題研究の成果についてそれぞれの発表がなされました。自ら学んで「わかった!」という充実感がいきいきと伝わってきました。



生徒が司会を担当しました



1年次は
インターンシップについて



2、3年次はパワーポイント
での発表です



3年次はグラフを用いた
本格的な発表でした

ダブルスクール新艇購入! 安全祈願式を開催しました

艇の老朽化にともない、3年後に迎える大湊高校創立70周年記念事業のひとつとして、ボート部の新艇『あしざきI』が納入されました。そして平成26年10月26日(日)、大湊高校ボート部艇庫にて安全祈願式が開かれました。ボート部は創部50周年を迎えた伝統ある部です。更なる健闘を期待します。



祈禱が執り行われました



『あしざきI』にも
直接お祓いをしました



緊張の初進水です



部長の佐藤君とOBの磯さんが
初乗艇を務めました

* 部活動紹介 *

☆剣道部

○部長 畑中一希 (14HR)
○顧問 對馬陽平/松澤華子
現在剣道部は部員4名と少ない状況での活動ですが、「県大会予選リーグ突破」を目標に日々稽古に取り組んでいます。日々の稽古では常に「克己心」を持ちながら、剣道を通して人間形成の道を歩んでいくと決意しています。



☆演劇部

○部長 飯塚 彩 (25HR)
○顧問 佐藤力弥/加藤清美
演劇部の主な活動は年に2回の自主公演、大高祭での発表。そして、9月の県大会です。この地区大会で入賞すると、10月に行われる県大会に進むことができます。今年は県大会出場を目指して日々頑張っていきたいと思います。



ソフトテニス部 女子団体22年ぶり 青森県高校総体ベスト8!

6月7日に岩木山総合公園コートで行われた上記大会において、ベスト8進出を果たしました。本校では、平成4年以来の快挙となります。今後のソフトテニス部の活躍に注目です。

私たちソフトテニス部は高総体で女子・団体戦ベスト8に入ることができました。ソフトテニス部が高総体でベスト8に入ったのは22年ぶりだそうです。先輩方の、試合に向けての取り組みや試合での活躍をみて、私も先輩方のようなプレイができるようになりたいと心から思うようになりました。現在、部員は女子4名と少人数ではありますが、団結力をより一層高め、日々練習に取り組んでいます。最後になりましたが、来年度は今年以上に部員を増やすこと、そして、先輩たちのようにみんなで勝利に向かって一生懸命頑張ります。



平成26年度部活動戦績

陸上競技部

山梨インターハイ出場
男子棒高跳 松橋亮太(31)・林下晃城(34)
女子走幅跳 名久井うらら(35)

東北陸上競技大会

女子走幅跳 第2位 名久井うらら(35)
女子4×100Mリレー
第4位 柳澤萌生(31)・加藤愛美(31)

東北高校新人戦

第1位 男子棒高跳 松橋亮太(31)
第2位 男子棒高跳 林下晃城(34)
女子走幅跳 名久井うらら(35)
女子100M 柳澤萌生(31)
三條目泰樹(11)

第3位 男子棒高跳

女子オーブン棒高跳 藤田真由(25)

第6位 女子走幅跳

日本ジュニア陸上競技 第25位 女子走幅跳 名久井うらら(35)
中京大学土曜競技会 男子棒高跳 松橋亮太(31)
4M82 青森県高校新記録

硬式野球部

全国高等学校野球選手権大会青森県予選
一回戦 大湊7―5十和田工
二回戦 大湊2―5弘前中央
秋季青森県大会
一回戦 大湊3―7八戸工大一

ヨット部

県高校総体
男子総合 第2位
男子FJ級デュエット 第2位
男子FJ級ソロ競技 第3位 大湊高校A
第3位 小島壮玄(31)・富江勇太(32)

女子総合

優勝(17年連続33回目の優勝)
女子FJ級 第1位
女子FJ級ソロ競技 第1位
大湊高校A
小林明日香(32)・遠藤佳奈(33)

東北ヨット競技大会

男子FJ級ソロ競技

第8位 大湊高校A
小島壮玄(31)・富江勇太(32)

女子FJ級ソロ競技 第6位
大湊高校A
小林明日香(32)・遠藤佳奈(33)

男女大湊高校Aインターハイ出場

ソフトテニス部

県高校総体
女子団体戦
一回戦 大湊2―1八戸水産
二回戦 大湊2―0弘前
三回戦 大湊0―1八戸学院光星
ベスト8(22年ぶり)

国民体育大会ソフトテニス競技

女子個人戦 ベスト8
三国楓茄(32)・岡崎日奈子(35)ペア

ボート部

県高校総体
女子2×(木村杏伽(31)・八木橋遥(23))
第2位(東北大会出場)

バスケットボール部

県高校総体
男子 一回戦 大湊91―51黒石商業
二回戦 大湊106―37中里
三回戦 大湊49―85八戸学院光星
一回戦 大湊78―58八戸東
二回戦 大湊46―82弘前実業

女子バレーボール部

県高校総体
一回戦 大湊2―0東奥義塾
二回戦 大湊2―0六ヶ所
三回戦 大湊0―2青森西
(ベスト16)

第1回下北かさまいカップ
優勝
ベストスパイカー賞
澤田美愛(14)

柔道部

県高校総体
男子個人戦66kg級 南谷瑞樹(31)ベスト8

卓球部

県高校総体
女子ダブルス 三回戦進出
佐藤朱華(32)小坂愛美(11)組
(ベスト16)

女子学校対抗

2回戦 大湊3―2六ヶ所
3回戦 大湊0―3弘前実業

バドミントン部

県高校総体
男子団体戦2回戦進出
女子団体戦2回戦進出

硬式テニス部

県高校総体
男子団体戦 2回戦 大湊2―0岩木
3回戦 大湊0―2八戸西
女子団体戦 1回戦 大湊2―0明の星
2回戦 大湊0―2八戸西

剣道部

県高校総体
男子団体戦予選リーグ 1勝2敗

硬式テニス部

県高校総体
男子団体戦 2回戦 大湊0―2岩木
3回戦 大湊0―2八戸西
女子団体戦 1回戦 大湊2―0明の星
2回戦 大湊0―2八戸西

サッカー部

県高校総体
一回戦 大湊0―7青森西

ソフトボール部

県高校総体
一回戦 大湊0―13青森商業

吹奏楽部

青森県吹奏楽コンクール第34回中央地区大会
高等学校の部 金賞
全日本吹奏楽コンクール第56回青森県大会
高等学校の部 銀賞

Information インフォメーション

皆様の声をお寄せください

同窓会報の紙面をさらに充実させるために、ぜひ会員の皆様から話題をお寄せください。

- 会員に関する心温まる話題
○ 活躍している会員のようす
○ 特集してほしい企画 etc

会報の配布にご協力願います

現在、会報はいろいろな方法で配布しています。しかし、「えっ、こんな会報があったの?」という声をよく耳にします。配布に御協力いた

だけの会員の方は、ぜひ事務局までご一報ください。

【現在の主な配布・閲覧方法】

- 会員・生徒保護者等を經由
○ 市役所・町村役場の閲覧コーナー
○ 同窓会の各会合・イベントで配布
○ 学校HPで公開 etc

【お問合せ】

大湊高校同窓会事務局

- ★電話 0175(24)1244
★FAX 0175(24)2680
★メール dosokai-omn.h@asn.ed.jp